

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公開番号】特開2001-313853(P2001-313853A)
 【公開日】平成13年11月9日(2001.11.9)
 【出願番号】特願2001-43257(P2001-43257)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月21日(2008.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タイマと、

画像撮影処理の実行を指示するボタンを監視し、該ボタンが所定時間以上押され続けると前記タイマを起動して該タイマによる所定時間の計時後に画像撮影処理を実行し、前記ボタンの押下時間が前記所定時間に満たない場合は該ボタンの押下解除後に即座に画像撮影処理を実行する制御部と、を備える処理装置。

【請求項 2】

前記ボタンは、接続／切り離し可能な画像取得装置に設けられたものである請求項 1 記載の処理装置。

【請求項 3】

前記ボタンは、表示装置に表示されたオブジェクトである請求項 1 記載の処理装置。

【請求項 4】

画像撮影処理の実行を指示するボタンの押下時間を検出する手段と、

前記ボタンの押下時間に基づき、該ボタンの押下解除後の画像撮影処理の実行タイミングを変更する手段と、を備える処理装置。

【請求項 5】

画像撮影処理の実行を指示するボタンと、このボタンの押下を監視する制御部とを備えた画像撮影装置であり、

タイマを備え、

前記制御部は、ボタンの押下を検出すると第 1 の計時時間を指定してタイマを起動し、

押下されたボタンが解放される前に前記第 1 の計時時間が経過した場合はさらに第 2 の計時時間を指定してタイマを起動してこの第 2 の計時時間経過後に画像撮影処理を実行し、

前記第 1 の計時時間が経過する前に押下されたボタンが解放された場合はボタン押下解除後に即座に画像撮影処理を実行する画像撮影装置。

【請求項 6】

コンピュータに、

画像撮影処理の実行を指示するボタンの押下を検出するステップと、

ボタンの押下検出後、第 1 の計時時間を指定してタイマを起動するステップと、

ボタンの解放を検出するステップと、

押下されたボタンが解放される前に第 1 の計時時間が経過した場合にさらに第 2 の計時時間を指定してタイマを起動するステップと、

この第 2 の計時時間経過後に画像撮影処理を実行するステップと、

前記第 1 の計時時間が経過する前に押下されたボタンが解放された場合にボタン押下解除後に即座に画像撮影処理を実行するステップと、
を実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 7】

コンピュータに、

押下操作を検出可能なボタンを表示装置に表示するステップと、

そのボタンの押下を検出するステップと、

ボタンの押下検出後、第 1 の計時時間を指定してタイマを起動するステップと、

ボタンの解放を検出するステップと、

押下されたボタンが解放される前に第 1 の計時時間が経過した場合にさらに第 2 の計時時間を指定してタイマを起動するステップと、

この第 2 の計時時間経過後に画像撮影処理を実行するステップと、

前記第 1 の計時時間が経過する前に押下されたボタンが解放された場合にボタン押下解除後に即座に画像撮影処理を実行するステップと、
を実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 8】

コンピュータに、

画像撮影処理の実行を指示するボタンの押下を検出するステップと、

ボタンの押下検出後、第 1 の計時時間を指定してタイマを起動するステップと、

ボタンの解放を検出するステップと、

押下されたボタンが解放される前に第 1 の計時時間が経過した場合にさらに第 2 の計時時間を指定してタイマを起動するステップと、

この第 2 の計時時間経過後に画像撮影処理を実行するステップと、

前記第 1 の計時時間が経過する前に押下されたボタンが解放された場合にボタン押下解除後に即座に画像撮影処理を実行するステップと、
を実行させるためのプログラム。

【請求項 9】

コンピュータに、

押下操作を検出可能なボタンを表示装置に表示するステップと、

そのボタンの押下を検出するステップと、

ボタンの押下検出後、第 1 の計時時間を指定してタイマを起動するステップと、

ボタンの解放を検出するステップと、

押下されたボタンが解放される前に第 1 の計時時間が経過した場合にさらに第 2 の計時時間を指定してタイマを起動するステップと、

この第 2 の計時時間経過後に画像撮影処理を実行するステップと、

前記第 1 の計時時間が経過する前に押下されたボタンが解放された場合にボタン押下解除後に即座に画像撮影処理を実行するステップと、
を実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明は前記課題を解決するために、以下の手段を採用した。

すなわち、本発明は、タイマと、

画像撮影処理の実行を指示するボタンを監視し、このボタンが所定時間以上押され続けるとタイマを起動して該タイマによる所定時間の計時後に画像撮影処理を実行し、前記ボタンの押下時間が前記所定時間に満たない場合は該ボタンの押下解除後に即座に画像撮影処理を実行する制御部と、を備える処理装置である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

このボタンは、接続／切り離し可能な画像取得装置に設けられたものであってもよい。また、このボタンは、表示装置に表示されたオブジェクトであってもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、本発明は、画像撮影処理の実行を指示するボタンと、このボタンの押下を監視する制御部とを備えた画像撮影装置であり、

タイマを備え、

この制御部は、ボタンの押下を検出すると第1の計時時間を指定してタイマを起動し、押下されたボタンが解放される前に第1の計時時間が経過した場合はさらに第2の計時時間を指定してタイマを起動してこの第2の計時時間経過後に画像撮影処理を実行し、前記第1の計時時間が経過する前に押下されたボタンが解放された場合はボタン押下解除後に即座に画像撮影処理を実行するものでもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

ユーザがボタンを押すと、制御部は第1の計時時間を指定してタイマを起動するとともに、押下されたボタンが解放されるか否かを監視する。タイマ撮影をする場合には、ユーザはボタンを押し続ける。こうして、第1の計時時間が経過すると、制御部は、さらに第2の計時時間を指定してタイマを起動する。この第2の計時時間は、タイマ撮影の待ち時間である。従って、この第2の計時時間経過後に画像撮影処理が実行される。一方、上記第1の計時時間が経過する前に押下されたボタンが解放されると、即座に画像撮影処理を実行する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明は、コンピュータに以上のような機能を実現させるプログラムであってもよい。
また、本発明は、そのようなプログラムをコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録したものでよい。